

若年者半月板部分切除術後の経過報告

○渡辺 裕介¹⁾ 張 敬範²⁾ 湯朝 友基²⁾ 江本 玄²⁾

1) 江本ニーアンドスポーツクリニックリハビリテーション部

2) 江本ニーアンドスポーツクリニック 整形外科

はじめに

若年者の半月板損傷に対し、縫合術を第一選択とすべきだが、やむなく部分切除術を行い、スポーツ復帰を行うケースもみられる。

今回、当院にて若年者での鏡視下半月板部分切除術を施行した症例について調査を行った。

対 象

期間：H18年5月～H25年3月

年齢：30歳未満

初回鏡視下半月板部分切除術を施行した者

97例..内側半月板（以下 MM）45 外側半月板（以下 LM）52例

※両側同時手術、内外側半月板損傷、円板状半月板、靭帯損傷、重度軟骨損傷を合併している者は除外した。

方 法

MM と LM を比較

- ・スポーツ復帰時期
- ・術後膝伸展筋力
- ・復帰時における膝関節伸展筋力健患比

※筋力測定は ANIMA 社製 μ tas を使用

※統計処理は t 検定を用いた (P<0.05)

当院におけるスポーツ復帰基準

- ・筋力が健患比 85 以上を満たしていること
- ・術後 6 週～12 週以上経過していること

結 果

スポーツ復帰に至ったのは、

MM 45 例中 40 例

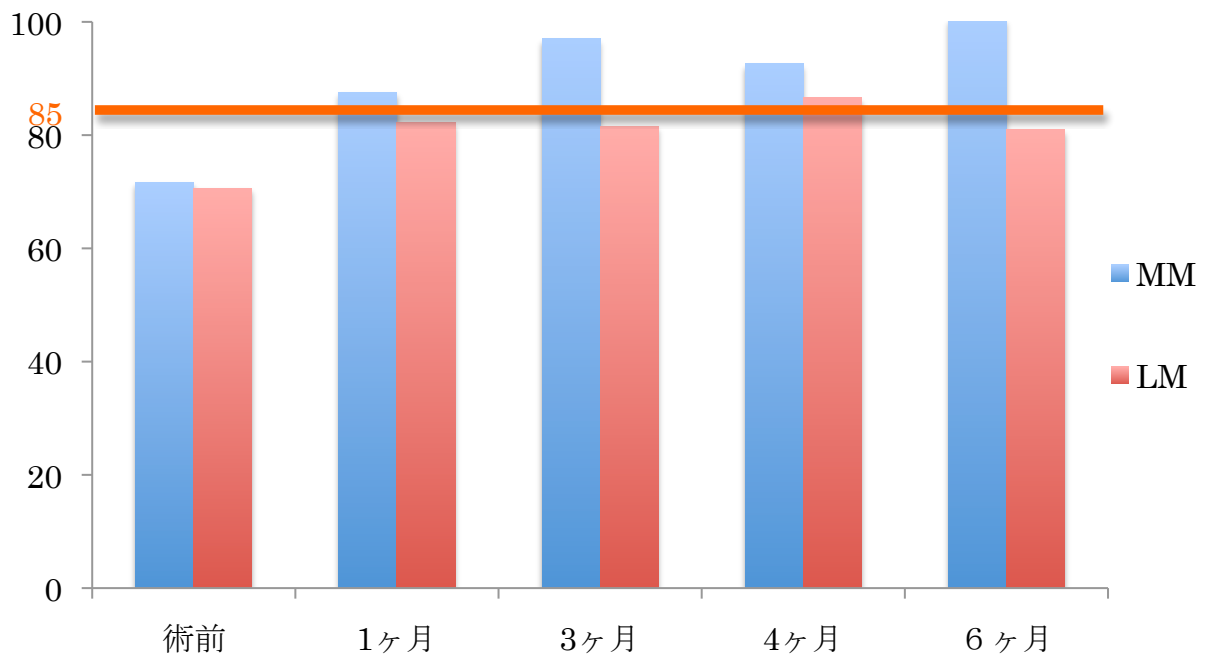
LM 52 例中 46 例

スポーツ復帰時期

MM 2.3 カ月 (6 週~4 カ月) LM 2.8 カ月 (6 週~6 カ月)

MM の方は、スポーツ復帰時期が LM よりも早かった (P=0.015)

筋力健患比



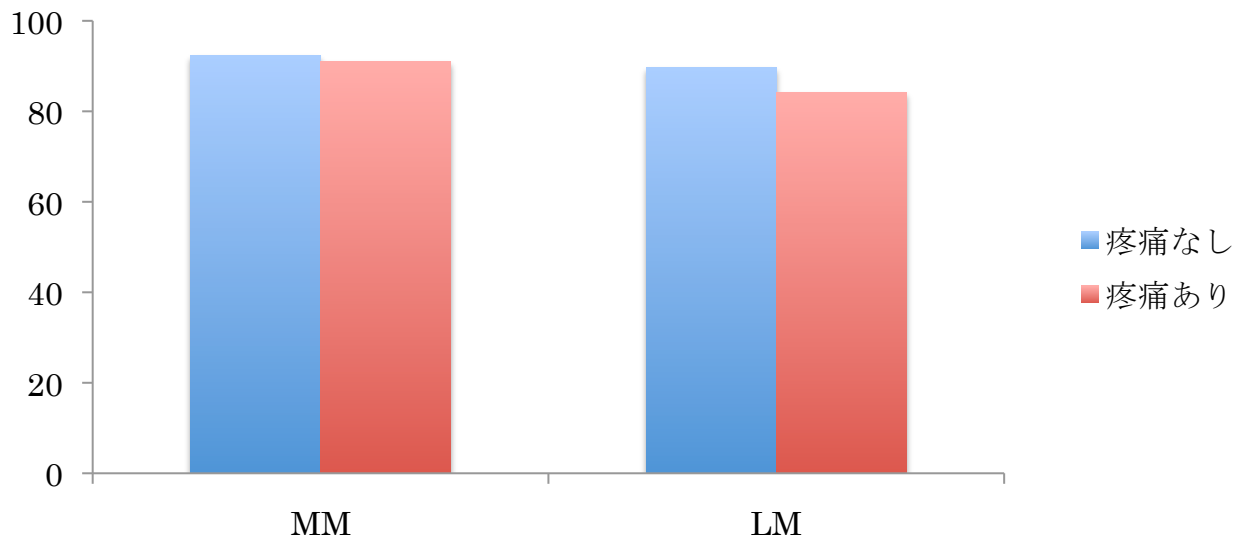
いずれの時期においても有意差は認めなかったが、MMの方がLMよりも健患比85%を満たすのが早い。

運動復帰後、運動中に痛みの訴えがあったのが

MM 40 例中 14 例 (35%)

LM 46 例中 20 例 (41%)

運動復帰時筋力健患比



MM、LM ともに有意差は認めなかった。

考 察

MM、LM ともに筋力回復に有意差はなかったが、MMの方が健患比 85%を越える時期が早かったため、スポーツ復帰時期が早かったと考える。

MMよりもLMの方が復帰後、運動時に痛みを訴えるケースが多かった。

Pena, E

外側半月板部分切除術後は、内側半月板部分切除術後よりも、関節軟骨へのストレスが高くなる。 J Orthop Res. 2006 May; 24(5)

Alford, J

外側半月板部分切除術後は、圧変化に伴い、軟骨破壊が急激に進行することもある。

Arthroscopy . 2005

運動復帰後の疼痛について

スポーツ復帰時筋力は、疼痛の有無では MM、LM ともに有意差は認めなかった。
筋力以外にも、復帰したスポーツのレベル等、他の因子が関与している可能性がある。

まとめ

- LM、MM ともに筋力回復に差はなかった。
- LM の方が、運動復帰後疼痛の訴えが多かった。
- 運動復帰後疼痛の訴えにおいて、復帰時筋力は有意差を認めなかった。
- 疼痛の因子となる他の要因を、検討していく必要がある。